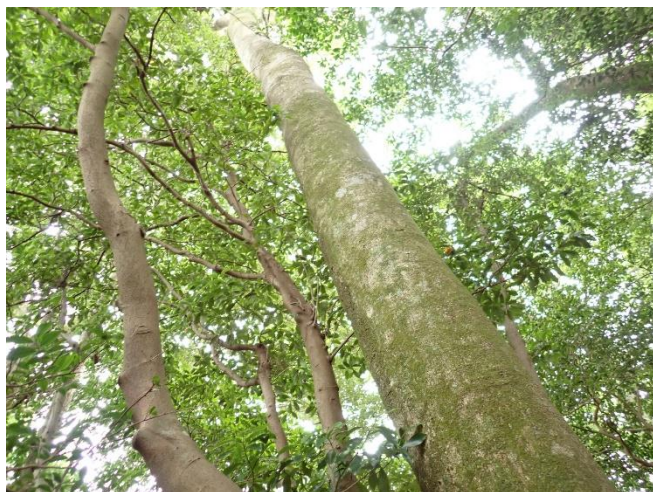


浄蓮ウラジロガシ・アカガシ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 伊豆森林管理署
所在地	静岡県伊豆市
面積	37.35ha
設定年	平成2年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	常緑広葉樹林の分布限界に近い暖温帯上部に成立している、ウラジロガシ、アカガシを主体とし、ヤマザクラ、アカマツ等の老齢木が混交する天然林で、植生遷移上及び学術上貴重である。このため、分布限界に近いカシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



ウラジロガシ生育状況

モニタリング調査概要

実施年度	平成22年、平成27年、令和2年、令和7年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ウラジロガシ群落において調査プロットを計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。
結果概要	保護対象種であるウラジロガシの実生はやや多く生育しており、小径木も確認されたことから次世代への更新に期待がもてるが、アカガシは大径木がわずかに生育しているのみであり、実生等は確認されていない。また、ウラジロガシにカシノナガキクイムシの穿孔がみられ、ナラ枯れも懸念される。